

【公報種別】 特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】 第 5 部門第 2 区分

【発行日】 令和 6 年 10 月 3 日 (2024.10.3)

【国際公開番号】 WO2023/112135

【出願番号】 特願 2023-567325 (P2023-567325)

【国際特許分類】

F 1 6 C 33/46 (2006.01)

F 1 6 C 19/36 (2006.01)

F 1 6 C 33/66 (2006.01)

【F I】

F 1 6 C 33/46

F 1 6 C 19/36

F 1 6 C 33/66 Z

10

【手続補正書】

【提出日】 令和 6 年 5 月 29 日 (2024.5.29)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】 特許請求の範囲

【補正対象項目名】 全文

20

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

軸方向一方側から軸方向他方側に向かって拡径する外輪軌道面を有する外輪と、  
軸方向一方側から軸方向他方側に向かって拡径する内輪軌道面を有する内輪と、  
軸方向他方側に大端面を有する複数の円すいころと、  
前記複数の円すいころを保持する環状の保持器と、を備え、  
前記保持器は、

前記円すいころの軸方向一方側に位置する小径円環部と、

前記円すいころの軸方向他方側に位置する大径円環部と、

前記小径円環部と前記大径円環部とを繋ぐ複数の柱と、を有し、

前記内輪は、前記大端面と滑り接触する大鏝部を有し、

前記大径円環部に、前記大端面に向かって開口する凹部が設けられ、

前記大径円環部と前記外輪との間の第一隙間は、前記小径円環部と前記外輪との間の第二隙間よりも小さく、

前記大径円環部は、外周に、軸方向他方側に向かって拡径する傾斜面を有し、

前記傾斜面は、前記外輪の軸方向他方側の側面に沿う仮想平面よりも軸方向一方側に位置して前記外輪の内周面と対向する対向面部を有し、

前記柱は、径方向外側に、

40

前記外輪の内周面との間の間隔を軸方向他方側に向かって拡大させる第一の外側面と

、  
前記第一の外側面と連続するとともに前記小径円環部の外周面と連続する第二の外側面と、

前記第一の外側面の軸方向他方側の端部から前記外輪側に向かって延びる壁面と、  
を有し、

前記柱が、径方向外側に、

前記壁面と折れ曲がり部を介して連続するとともに前記大径円環部の前記傾斜面と折れ曲がり部を介することなく連続する延長面を有し、

前記柱の前記延長面および前記大径円環部の前記傾斜面と前記外輪の内周面との間隔は

50

、前記第二の外側面と前記外輪の内周面との間隔よりも、小さい、  
円すいころ軸受。

【請求項 2】

前記大径円環部と前記大鐸部の外周面との間の隙間を第三隙間とし、  
前記小径円環部と前記内輪との間の隙間を第四隙間とした場合、  
前記第一隙間と前記第三隙間との合計は、前記第二隙間と前記第四隙間との合計よりも  
大きい、請求項 1 に記載の円すいころ軸受。

【請求項 3】

前記壁面は、前記大径円環部よりも軸方向一方側に設けられている、請求項 1 または請  
求項 2 に記載の円すいころ軸受。

10

【請求項 4】

前記大径円環部の前記傾斜面は、前記外輪の内周面と対向する前記対向面部と、前記外  
輪の内周面と対向しない非対向面部と、を有する、請求項 1 または請求項 2 に記載の円す  
いころ軸受。

20

30

40

50